

# 新横浜出張所だより

京浜河川のHPは <http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/>

国土交通省関東地方整備局  
京 浜 河 川 事 務 所  
新 横 浜 出 張 所 発 行  
電 話 0 4 5 - 4 7 6 - 5 0 0 3  
2 0 1 2 年 1 2 月 1 0 日【第33号】

## 鶴見川多目的遊水地の減勢池で水質事故訓練を実施

多摩川、鶴見川、相模川流域の国、都県、政令市などが参加している関東地方水質汚濁対策連絡協議会の部会を11月16日鶴見川流域センターで開催し、各担当者より水質事故発生状況、水質現況、水質測定結果と計画、排水規制実施状況等の報告が行われました。会議後、遊水地の減勢池において、河川で油流出事故を想定した水質事故対策訓練を行い、部会参加者等多くの方が参加しました。

訓練は、ゴムボートでオイルフェンスを展張し、油吸着マットを散布しました。（左下の写真が会議の様子、右下が訓練の様子です。）このような取り組みを通し、関係機関との連携強化や事故発生時の迅速な対応を行っていきます。



## 鶴見川脇の横浜環状北線の工事が進んでいます



鶴見川の小机大橋と亀甲橋の間（都筑区川向町）で三角形を組み合わせたようなものができていますが、これは鶴見川に流入している大熊川を横断する橋梁の一部です。

この橋梁の形式は、トラス橋と呼ばれ延長が約160mにもなります。

左は、今年の8月頃から2ヶ月おきに撮影した写真です。（写真は首都高速道路（株）より提供）

下の図は、橋梁の施工業者が作ったパンフレットから引用したもので、橋の上部の完成イメージとなります。このタイプのトラス橋は、日本で最大級のものとなります。

【事業者：首都高速道路（株） 神奈川建設局、施工業者：（株）IHI インフラシステム、（株）駒井ハルテック】



# 『鶴見川の防災情報講座』2回目は観測施設を見学しました



インターネットや地デジテレビなどを通じて 24 時間発信されている、水害防止の情報。市民の皆さんの利用をもっと進めるにはどうすれば良いかアイデアを頂くために、鶴見区駒岡地区と港北区新羽町地区の皆さまのご協力を得て開催している表記講座の2回目を、11月10日(日)、25日(日)に行いました。

『百聞は一見にしかず』のとおり、雨量、水位、ライブ映像が、どのように測られているのかを確認したことにより、情報を見るに当たって具体的にイメージできるなど、理解をより深めて頂くことができました。

(左の写真は、11月10日亀の子橋水位観測所にて)

## 鶴見川のゴミマップ(H24.4~9)をホームページで公表しています

京浜河川事務所では、河川に不法投棄されたゴミを収集・処分しています。このゴミの収集・処分にはお金がかかっており、その費用はみなさんの税金から支払われています。河川へのゴミの投棄がなければ、必要のないお金です。

河川のゴミ投棄の実態をみなさんに知って頂くために、河川巡視で確認したゴミの場所を地図にしました。

みんなが気持ちよく河川を利用できるように、ゴミを持ち帰るようにしましょう。今回は、平成24年4月から9月までに確認した半年分のゴミを掲載しました。

(右図が『鶴見川ゴミマップ』)



### あ と が き

今年もあと少しとなりましたね。

さて、この『新横浜だより』を発行して、2年9ヶ月が過ぎようとしています。少しでも、皆さんにとって鶴見川が身近なものとなればと、40数号の新聞を作ってきました。

この一ヶ月ぐらいの間に、号外で作成した水害編と総合治水対策編の新聞を、市民団体の講座や中学校で活用して頂いたりして、こちらも嬉しく思っています。

私たち職員が鶴見川流域センターの広報担当となり、市民の皆様とふれあう中で鶴見川の個別のテーマで新聞を作る必要性を感じています。

今後も、特定のテーマで活用して頂けるような新聞を作りたいと思っています。

また、新年号に向けては、『鶴見川の10大(重大)ニュース』を掲載する予定で、読者の皆様などへのアンケートを計画しています。

是非、よろしくお祈りします。

『新横浜出張所だより』編集長(上林喜美夫)

## 鶴見川流域センターは防災情報を発信中です

JR小机駅の近くにある、地域防災施設『鶴見川流域センター』では、冬場に入り平日の見学者は少なくなっていますが、土日祭日の来館者は多くなっています。

遊水地にも本格的な冬が到来しました。流域センター屋上から眺める富士山も、空気が澄んで雪の白さが眩しいほどです。

鶴見川では、毎年お正月に町田市の源流から、河口の生麦までを2日間に分けて歩く「つるみ川新春富士見ウォーク」を開催しています。フルマラソンとほぼ同じ42.5kmの鶴見川を、富士山を背に、ゆっくり歩きでガイドを聞きながらの行程です。

参加方法などは、流域センターでご案内しますので、どうぞお気軽にお問い合わせ下さい。



【毎週火曜日が休館日です】

住所 横浜市港北区小机町2081

電話 045-475-1998

(鶴見川流域センター直通)